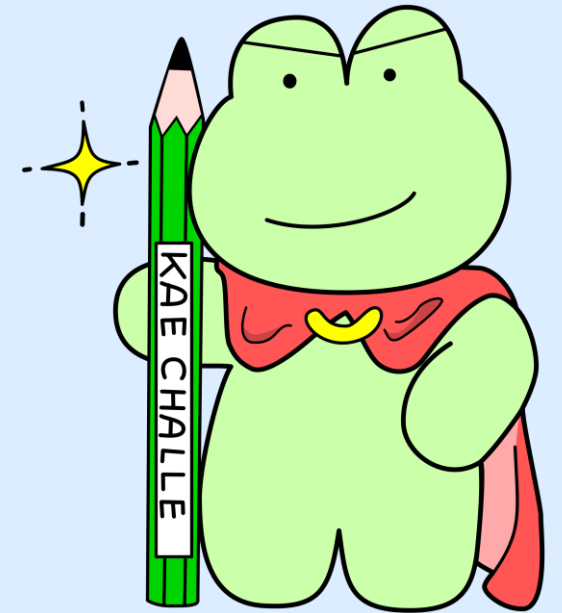


福島市職員 ひとり1改善・1改革運動 「かえるチャレンジ」



令和5年1・2・3月分
月間賞 受賞一覧





《改善》 庁内の自席から住民票や戸籍関係書類の公用請求ができます

〈取組内容〉

データで作成した庁内公用請求書の決裁から市民課への発送を文書管理システム内で実施できるようにした。
担当者は自席にいながら庁内公用請求の申請が可能になった。

〈効果〉

- ・ 庁内公用請求書に使用されていた紙の削減
- ・ 庁内公用請求書を市民課へ提出する時間の削減

《改善》市立幼稚園預かり保育料に係る手続きの簡素化

〈取組内容〉

預かり保育料の納付を規定している条例を改正し、保育の無償化に該当する保護者は保育料の支払いを要しないこととする。（※条例改正済み）

〈効果〉

利用者：保育料の支払い、既納の保育料還付申請が不要となる。

担当者：保育料の徴収、債権管理、還付に係る事務の軽減

《改善》 毎日全自動でリスト作成

〈取組内容〉

RPAツール「SikuliX」、マクロ入りのExcelファイル、バッチファイル、タスクスケジューラを組み合わせることで、端末を起動させてパスワードを入力する以外は一切の操作をすることなく、日々の貸出返却機器リスト一覧表を作成することができるようになった。

また、バッチファイルのソースを工夫することで、係内の職員誰かひとりがリストを作成した場合には、他の職員は自動で作成しないようプログラムを組んだ。

〈効果〉

- ・ 貸出返却機器リスト作成に要していた15分/日の作業がパスワード入力3秒/日へ縮減された。
- ・ 画面の目視確認と手作業でのリスト作成時にはあったミスや漏れがなくなり貸出・返却をスムーズに行えるようになった。

《改善》 解散できない外部団体の 活動休止及び清算

〈取組内容〉

積極的に課題を解決するため、まずは部内で対応方針を協議した。その結果、総会での決議により活動を休止し、また預金口座も解約して残預金は会員へ返還し、清算することとした。

〈効果〉

- ・ 隔年で書面により開催されていた総会の開催が不要となった。
- ・ 預金を保持していないため、半年に一回の利息の調定と毎年の監査事務が不要となった。
- ・ 団体を構成する各市町村の担当課職員も事務削減に繋がった。

《改善》 外部会議（中核市市長会プロジェクト会議） におけるペーパーレス化

〈取組内容〉

令和4年度においては、本市が「脱炭素社会の実現に向けた取組検討プロジェクト」の幹事市を担当したということもあり、脱炭素化に寄与すべく省資源化と、併せてDX化推進の観点から、各市に端末の持参について協力をいただいた上で、ペーパーレスによる会議を実施した。

〈効果〉

- ・ 中核市市長会東京事務所の職員が取りまとめて印刷していた紙資料が不要となったことで、省資源化をはじめ、事務負担軽減や印刷に係る費用削減につながった。
- ・ 他市首長を巻き込みながら実施したことで、脱炭素化及びDX化に関する取組事例として、各市への意識醸成が図られた。

《改善》 AI－OCRを活用した 資料作成（正確・早い）

〈取組内容〉

全て手作業で行っていた検査資料作成事務を見直し、以下の手順により可能な限りデータを用いた形に切り替えた。

1. AI－OCRを通して必要な項目の文字・数値データ（CSVファイル）を取得
紙提出の資料のうち対応可能なものをコピー機のスキャン機能によりPDF化
→CubePDFにより必要ページの抽出→AI－OCRによるデータ取得

※AI－OCRの使用に向けた相談、フォーム整備など情報企画課の協力をいただいた。

2. 検査資料用のエクセルファイルを加工し、1. で取得したデータを貼り付けた際に必要な内容が表示されるようにした。

〈効果〉

- ・手入力作業分はデータ貼り付けで完了。事務の正確性が向上した。
- ・資料作成時間の短縮（＝その他の検査業務の質向上）

《改善》WEB会議システムを用いた研修会の実施

〈取組内容〉

- ・ 予防業務に専従している立場から、これまで得た知見を共有する目的として実施。
- ・ 現状の課題に対応するためWEB会議システムを用いて予防技術に関する研修会を実施した。
- ・ 研修対象者が隔日勤務対応のため、内容ごとに各2回実施。受講しやすさに配慮し午後7時からの開催も試みた。

〈効果〉

- ・ 計12回、延べ254名が参加。
各回、福島市オンライン申請システムによりアンケートを実施、概ね好評を得た。
- ・ 所属の端末から参加できるため、感染症対策としても十分効果があったと考えられる。
- ・ 10月からは、会議の録画が可能になったため、出勤隊員や週休者が後日視聴できるようにした。

《改善の提案》 ペーパーレス化に伴う コピー機リース代の有効活用

〈取組内容〉

プリンターでの複数枚出力を抑制し、月使用枚数上限まで有効にコピー機を使用する。
具体的には

1. 複数枚印刷するものは、1枚だけ印刷し、コピー機を使用する。
 2. 締日1週間前にカウンターを確認し、枚数等を調整する。
- 担当者の手間は若干増えるが、それ以上の効果は期待できる。

〈効果〉

- ・プリンタートナー代の抑制が図られ、当課では9万円程度でも、庁内全体的に見た場合大きな経費の削減になると思われる。
- ・全庁的な台数が不明のためフロアに3台で9フロアと仮定。当課の減少数を基礎にする。

《改善》 ももりんシルバークラスポートの ネガ処理（無効化処理）一括データ入力

〈取組内容〉

アクセス上でネガ処理も一括で処理できるように従前の仕様を変更し、入力にかかる手作業を不要とした。

また、チェック作業もネガ処理後のデータをアクセスよりエクスポートし、エクセル数式を活用しチェックを簡略化した。

結果、月次処理が15分（0.25時間）に短縮された。

〈効果〉

ネガ処理の手入力等の作業時間7時間×12月分（84時間）の作業時間が
仕様変更後0.25時間×12月分（3時間）で済むようになり、年間81時間の削減

《改善》ポストコロナにおける 卒業証書授与式

〈取組内容〉

市立小・中・特別支援学校卒業証書授与式における動画対応を導入

市立小・中・特別支援学校を6地区に区割し、各地区2校ずつ対面对応。その他の学校は動画対応対面对応…小学校45校→12校、中学校19校→12校、特別支援学校は教育委員会告辞のみ

〈効果〉

- ・動画対応を導入の場合、読み本作成部数及び作成時間の削減
 - ・書面对応の場合、ペーパーレス
- 令和元年度から3年度までは、対面による教育委員会告辞及び市長祝辞を見合わせたため、児童生徒数分の教育委員会告辞及び市長祝辞を印刷し、提供
- ・対面での対象者を削減し、動画を導入することにより危機事象時の体制を整えることができる。